

聞こえに向き合えば 人生はまだまだ 楽しめる

70歳を超えても元気はつらつとして
井上順さん。

「補聴器を着けて人と出会うことが
若さの秘訣」と話す。



“両耳に補聴器を着けると、世界が変わった”



ステージでイキイキと歌う姿。



井上順さんご愛用のリオネット補聴器。

元来明るい僕ですが、聞こえが悪くなった当初は閉じこもりがちになっていました。「ちょっと一杯行かない？」と誘われても、会話で聞き返すのが面倒で断ってしまう。本当は、人とおしゃべりするのが大好きなのに……。

そんな僕を救ってくれたのがリオネット補聴器でした。最初は目立たないように片

耳にしか補聴器を着けなかったのですが、両耳に補聴器を着けたときは、生まれ変わったような心地がしたものです。早く両耳に着けておけばよかったですと後悔しました。

僕が今も元気なのは、多くの人と話し、たくさんの方の笑顔に出会えているから。補聴器を着けて楽しく日々を過ごしているおかげで、70歳を過ぎた

“補聴器を着けて、街へ出かける —— これが僕の若さの秘訣”

補聴器を着けていることは隠さず、いつもオープンにしています。仕事をするうえで、「僕は難聴だよ」と伝えることが大事。仲間は「順ちゃん、そんなの気にしないよ」と言っただけサポートしてくれず。

例えば大河ドラマ「真田丸」出演のお話をいただいたときは、時代劇に補聴器を着けたままではまずいだらうと、事前に相談をしました。ところが、脚本の三谷幸喜さんは「大丈夫だよ」とおっしゃる。蓋を開けてみると、僕が演じるのは頭巾を被る役で、補聴器を着けていても問題ありませんでした（笑）。周囲の優しさ、ありがたさを実感することが多いですね。

今も健康そのもの。自宅でタップダンスの練習をしたりと、体力を維持できるように運動もしています。

最近の補聴器は小型で、ファッションアイテムのようにおしゃれで、恥ずかしがることはありません。堂々と補聴器を着けて、街へ出かけましょう。聞こえに向き合えば、人生はまだまだ楽しめます。

歌手・俳優
井上 順さん

ザ・スパイダーズのボーカルとして数々のヒット曲を生み、俳優としても活躍。50代で難聴と診断され、リオネット補聴器に出会う。

Quality of Sound, Quality of Service
リオネット補聴器
〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41

お近くのリオネット補聴器販売店のご案内と、カタログのご請求はお気軽に。
0120-2933-76 受付時間 9:00~21:00
(年末年始を除く)
きこえが気になったら、まずは耳鼻咽喉科での診察をお勧めします。